

令和4年度 事業計画

印旛晴山苑

特別養護老人ホーム印旛晴山苑

印旛晴山苑ショートステイサービス（介護予防含む）

印旛晴山苑デイサービスセンター（介護予防含む）

印旛晴山苑居宅介護支援事業所

●概要

平成18年7月19日に開設。主に印西市及び隣接する佐倉市、八千代市、白井市、栄町、酒々井町等の地域にお住まいの高齢者の方を対象に介護サービスの提供を行っております。

緑豊かな自然の中で感じられる癒しの空間で、地域の皆様に安心・安全な介護サービスの提供、心身共に気力体力の向上ができ、生き生きと張りのある生活を継続できるよう支援を行っております。

●基本方針

1. 個室ユニット型施設の利点を最大限に生かし、個人の尊厳を尊重し、利用者様とご家族に満足していただける施設づくりを実践します。
2. 地域の皆様やボランティアの皆様と気軽に交流ができる社会福祉の拠点となる地域連携重視の介護施設を目指します。
3. 介護職員が必要な知識、技術、倫理観を習得し、職員自身が生き生きと充実感をもって働くことのできる、働きがいのある職場づくりを進めます。
4. 安定した経営基盤の構築に努めます。

●重点課題

1. 経営の安定化 【経営改善計画】の策定

- ・稼働率の向上
待機者確保のため外部(周辺地域事業所・行政担当者・病院等)への積極的な情報収集及びアプローチ
特養空床期間の短縮及び特養空室のショートステイ利用の促進
受入可能枠の再検討(特養)
柔軟な受入体制(ショート・デイ利用者へのアプローチ)
- ・経費削減
職員貸与被服の一部廃止、電気・ガス料金の節減
勤務内容の見直しによる時間外手当の大幅削減及び仕事と生活のバランスを考えた働き方改革
- ・業務の効率化・スリム化
業務内容の見直しによる効率化・スリム化
会議開催における時間のスリム化・書類簡素化
薬局との連携による誤薬防止策の実施と、それに伴う看護業務軽減
ロボットやセンサー等の利用による業務効率化
- ・加算の見直し

2. サービスの質の向上

- ・資格取得の促進(介護福祉士・実務者研修・喀痰吸引等)
- ・研修受講の促進(知識・技術・倫理観等のレベルアップを図り経験を積む)

3. 人材確保および育成

職員配置の適正化により適正な労務管理を実施し、職員の健康と豊かな生活の両立が出来る働きがいのある魅力的な職場を作る

- ・求人方法の再検討(ハローワーク、ホームページ、広告、紹介制度等の活用)
- ・高校・専門学校等へのアプローチによる新卒採用の強化

- ・ 新人職員に対する育成プログラムの構築

4. 法令遵守及びリスク管理

- ・ 様々な法令についての学習の促進及び情報共有の実施
- ・ 法令遵守への意識の浸透（注意喚起の実施）
- ・ 福祉に携わる者としてより高いモラルと社会規範に基づいた義務と責任を自覚し、社会的信用を損なうことのないよう行動する。
- ・ 常にリスクを想定し、リスク回避が迅速に行えるよう手順の整備を行う。
- ・ 透明性のある開かれた施設運営を行う。

5. 感染症対策及び防火・防災対策

感染症や災害が発生した場合でも、利用者様に必要なサービスが安定的・継続的に提供できるよう対策を行う。

- ・ 感染症対策の強化（衛生品・感染対策物品の確保、感染症予防マニュアル確認）
- ・ 災害時においても、事業継続させるための対策の整備推進を図る
- ・ 災害時の地域連携を充実させるため、日頃から地域連携強化に取り組む
- ・ 自然災害等に対処できる備蓄品の確保
- ・ 避難訓練は年3回（概ね5月・8月・10月）実施し、内1回は夜間を想定した訓練を実施

●各部門別事業計画

特別養護老人ホーム（90床）

1. 平均利用率95%以上を目指します。
2. 個人の尊厳を尊重し、生活歴等を考慮しその人らしい生活が送れるようサポートを行い個人の希望に添ったサービスの提供を実施します。
3. 業務の見直しを実施し効率化を図ることで、利用者様とのコミュニケーションの時間を増やし、利用者満足度、職員満足度の向上を図ります。
4. 残業を削減し、職員の疲労やストレスを解消させた職場づくりを目指します。
5. ボランティアの方々による傾聴、習字、押し花、レクリエーションなどを促進し、利用者様の満足度の向上を図ります。
6. 各種会議のオンライン化を検討します。

ショートステイサービス（10床）

1. 平均利用率90%以上を目指します。
2. 感染症予防の強化を実施します。
3. 入所部門との連携を強化し、空床の活用による利用率の安定化を図ります。
4. 業務の見直しを実施し、効率化を図ります。
5. 適切なサービス提供及び個別ニーズに対応できる態勢づくりに努めます。

デイサービスセンター（定員30名/日曜定休）

1. 平均利用率80%を目指します。
2. 感染症予防の強化を実施します。
3. 利用者様のニーズに柔軟に対応し、利用率の向上に努めます。
4. 苑内活動の充実及び環境づくりに創意工夫し、心地よく有意義なひとときをお過ごしいただけるようなサービスの提供を行います。
5. 地域との積極的な交流や連携を行い、地域に開けた事業所を作ります。

居宅介護支援事業所

1. 介護が必要な方へ適切な介護サービスを提供し、在宅生活の継続を支援します。
2. 心身の状況や環境に合ったケアプランを作成し、自立した生活を支援します。
3. 地域包括や関係事業所との連携を強化し、新規利用の獲得を目指します。
4. 研修や会議に積極的に参加し、介護支援専門員としての資質向上に努めます。

その他部門

相談室（特別養護老人ホーム）

1. 近隣病院や事業所との連携を図り、積極的に入所希望者の情報収集を行います。

2. ホームページを活用し魅力ある施設を発信し、新規利用者の確保に努めます。
3. 空床期間の短縮に努めます。
4. ショートとの連携により特養空室の積極的な活用を行い、稼働率向上に努めます。

医 務 室

1. 入所者の体調管理に徹し、医師の指示に基づき状態変化への早期対応に努めます。また、常に訴えを傾聴し、心身の健康管理にも配慮します。
2. 協力病院及び近隣病院との連携を取り、スムーズな受診対応に努めます。
3. 感染対策の周知徹底及び対処法を積極的に学び、感染予防に努めます。
4. 褥瘡対策及び高齢者特有の皮膚疾患の観察・対応を行い、増悪予防に努めます。

栄 養 管 理 課

1. 利用者様のQOL向上のため、食事摂取状況や体重などの身体状況の把握、各専門職との連携による生活機能維持の向上、低栄養状態の改善・予防に努めます。
2. 嗜好調査や利用者様との会話などから、食べたいものを献立に取り入れ、行事食や旬の食材を取り入れた季節感のある食事提供を行います。
3. 災害等に備え、非常食の備蓄を強化します。
4. 各専門職との連携で嚥下評価、食事観察、カンファレンスを実施し、一日でも長く経口摂取できるよう支援します。(経口維持加算(I)取得)

事 務 室

1. 経費削減に努め、コスト意識の周知・徹底を行います。
2. 意見箱を設置し、職員の些細な気づきや小さな意見が提案できる環境を作ります。
3. 常に正確性を重視し、かつ、事務処理の効率化・迅速化に努めます。
4. 法令遵守を重視し、良識ある行動を行うとともに職場環境の改善に努めます。
5. ホームページの更新回数を増やし、開かれた施設運営を目指します。

●コンプライアンス 活 動 計 画

法令を遵守するとともに、倫理観に基づく良識ある行動を心がけ、誠実かつ公正に業務を遂行します。

- ・コンプライアンスプログラムの見直し・修正
- ・様々な法令についての学習や勉強会を行い、職員への情報共有を実施
- ・注意喚起の実施

●施 設 整 備 お よ び 修 繕 計 画

設備等

- ・外壁及び配管等点検、排水設備の洗浄・点検など
- ・屋上及びベランダの防水処理の実施

施設内機器等

- ・通信機器(電話・PHS)入替
- ・設備老朽化による入替(エアコン、給湯器、機械浴槽、ベッド、厨房機器)
- ・大浴場(デイ)内浴槽の修繕
- ・介護記録ソフト更新(5年契約)

車両管理

- ・車検の実施(6台)及び定期的な車両点検の実施
- ・経年劣化車両の入替(1台)

災害対策物品

- ・非常食、飲料水、発電機、感染症対策物品、他 災害発生時に必要な物品の調達・保管

●年間行事・研修計画

	行事計画	研修計画
4月	花見 春の音楽会(デイ)	新人(新任)職員 福祉入門講座 感染症予防研修 (毎月)口腔ケア研修 (毎月)動画研修メディパスアカデミー(Web)
5月	天井の日	介護支援専門員研修
6月	紫陽花散歩	オムツ研修 給食施設管理者、従事者研修会
7月	納涼祭	身体拘束廃止・虐待防止研修 施設長および事務担当者研修会 感染症対策の基本研修
8月	スイカ割り	
9月	敬老会	社会福祉施設における食中毒、感染症対策研修会
10月	コスモスドライブ いも掘り 秋の音楽会(デイ)	感染症の基本研修 看護職員スキルアップ研修
11月	お寿司の日	千葉県高齢者虐待防止対策研修 デイサービスにおけるリハビリテーション
12月	クリスマス会	
1月	初詣	身体拘束廃止・虐待防止研修 ノロウイルス対策研修 給食施設管理者、従事者研修会 リーダー研修 認知症基礎研修
2月	節分	高齢者虐待防止研修
3月	ひな祭り	
不定期	誕生会・押し花クラブ・ 書道クラブ、電子絵本・ 傾聴ボランティア 喫茶店開催 手作りおやつ(食事) 介護研修受入(教員) 職場体験受入(学生)	出前研修の導入

その他

- ・ 苑に隣接する農地(畑)を利用し、園芸療法等の充実を図る
- ・ 地域性を活かしたボランティア活動事業の積極的な推進

●会議・委員会

開催時期	会議名
毎日	朝礼
月1回	施設運営会議、ケアプラン会議、リーダー会議、ユニット会議、衛生委員会
年9回	感染対策委員会
年6回	身体拘束廃止・虐待防止委員会、事故対策委員会 給食委員会、排泄環境委員会
年4回	安全委員会、デイサービス会議
年3回	防火管理委員会
随時	入所検討委員会、行事委員会、リーダー連絡会